

# 市政に 対する 一般質問

## 〳〳〳7名の議員が質問〳〳〳

9月定例会の一般質問は、9月18日・19日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**管野 恭子** 発達障害の早期発見について

**佐藤 龍彦** 小中学校の教室におけるエアコン設置について

**伊藤 勝美** 消防団について

**佐久間儀郎** 地理的表示(GI)保護制度の活用支援について

**佐藤 秀行** 小中学校のエアコン設置について

**松野 久郎** 姉妹都市・友好都市について

**菊地 忠久** 将来的な小中学校の統廃合について

他 他 他 他 他 他

### 発達障害の早期発見について

管野 恭子



見ることで、何に興味を持ち、どのように見ているのかを客観的に知ることができるとのこと。

〔質問〕発達障害者支援法では、発達障害の症状が通常低年齢において発現することから、発現後、早期に発達支援を行うことが、さらなる適応困難・ひきこもり等の二次障害防止の上で特に重要とし、市町村の乳幼児健診においては、発達障害の早期発見に十分な留意をしなければならないとしている。

この計測結果を、専門的知識を有した「かおTVオペレーター」が保護者に知らせることで、保護者は子ども自身が見ている世界を知ることにより子どもへの理解が深まり、また保健師は、客観的に子どもに関心を保護者に説明できることで理解が得やすくなり、その後の支援、療育につなげていきやすくなる。

視線計測装置「かおTV」は、大阪大学、千葉大学など5つの国立大学と企業が共同して開発した装置であり、子どもの視線から社会性発達の状態を確認できる機器である。画面に流れる映像を子どもが

本市の乳幼児健診時に早期発見の一助として「かおTV」を導入していくべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】「かおTV」については、先日、見聞する機会があり認識している。

当装置の導入については、購入費のほか、装置利用のための研修資格取得や発達障がい者及び保護者への支援継続に係る社会資源の整備等の課題があることから、今後、慎重に検討していきたい。

〔質問〕発達障がい者が「生きづらさ」を感じないで社会生活ができるよう、発達障害理解のための市民セミナーを実施すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】セミナーも一つの方法ではあるが、セミナーに限定しない効果的な形式等について、専門家の意見を参考にしながら検討し、市民の理解を深めていきたい。

### 【その他の質問】

◎医療用ウィッグ購入費用の助成について

◎液体ミルクの災害時備蓄について

◎自転車保険加入を義務化する条例の制定について

120527